

特集 世紀を超えて

—日本児童文学者協会創立70周年記念号—

今、日本は岐路に立たされている。社会が揺れ動いている。さまざまな矛盾と軋轢の中で子ども大人も喘いでいる。

七〇年前の児童文学者の先達は、木っ端微塵に潰され、敗戦の荒地に立ったとき、未来にどんな夢を見たのだろうか。託したのだろうか。

今の時代を立ち止まって考えたとき、未来に向かって児童文学は、そして、今を生きる私たちは何ができるのだろうか。

私たちにできることは何かを探りながら、来し方、そして、未来を問う。

